



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日
東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,093	12.1	859	6.8	878	8.2	565	7.5
2022年3月期第2四半期	13,465	9.8	805	20.0	812	20.9	525	16.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 575百万円(2.8%) 2022年3月期第2四半期 559百万円(20.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	269.10	—
2022年3月期第2四半期	250.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,362	8,174	51.4
2022年3月期	15,253	7,709	48.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,901百万円 2022年3月期 7,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,100	△1.2	1,173	△23.9	1,180	△24.4	777	△20.4
								370.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,100,000株	2022年3月期	2,100,000株
2023年3月期2Q	207株	2022年3月期	207株
2023年3月期2Q	2,099,793株	2022年3月期2Q	2,099,793株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加による経済活動停滞の影響は軽微ではありましたが、急激な円安による物価上昇や原材料費の高騰等の影響による製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。また、在庫車両の販売が進んだことにより販売台数は増加いたしました。さらに、点検車検等の入庫においても既存顧客に対するフォローアップ活動の結果、堅調に推移いたしました。

しかしながら、世界規模の半導体不足等による、商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等による販売台数の鈍化や、急激な円安の影響を受けて原材料費の高騰等による新車価格の見直し等、業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は150億93百万円と前年同期と比べ16億28百万円(12.1%)の増収、営業利益は8億59百万円と前年同期と比べ54百万円(6.8%)の増益、経常利益は8億78百万円と前年同期と比べ66百万円(8.2%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億65百万円と前年同期と比べ39百万円(7.5%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は150億93百万円と前年同期と比べ16億28百万円(12.1%)の増収、営業利益は8億59百万円と前年同期と比べ54百万円(6.8%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、新型コロナウイルス感染症による中国上海のロックダウンによる生産停止のほか、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響を受け商品入庫が安定しない状況が発生いたしました。在庫車両の販売に注力した事と、商品入庫減を見越した商品仕入が功を奏したことにより、国産新車販売台数は前年同期と比べ10.6%増の2,554台となりました。輸入車においては、ロシアのウクライナ侵攻により、近隣国等サプライチェーンの稼働停止の影響により、商品入庫の回復見込みが不透明な状況が続いており、輸入車販売台数は前年同期と比べ14.8%減の201台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期と比べ8.2%増の2,755台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、新車商品の供給遅れ等が長期化する見込みのため新車販売店舗においても中古車販売を強化いたしました。さらに、中古車オークション相場の価格高騰の影響を受け、卸売(業販)が増加したことにより、中古車販売台数は前年同期と比べ2.1%増の4,964台となりました。

これらの結果、売上高は144億1百万円と前年同期と比べ14億82百万円(11.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は8億61百万円と前年同期と比べ92百万円(12.0%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期と比べ1.7%増の4,576台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期と比べ10.6%増の4,300台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が高値で推移しているため資源関連売上が大幅に増加し、輸出関連売上についても増加傾向となっております。しかし、売上原価は、全国的な新車販売台数減少の影響等による中古車オークション相場の価格高騰により、大幅に増加いたしました。

これらの結果、売上高は6億92百万円と前年同期と比べ1億46百万円(26.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億10百万円と前年同期と比べ44百万円(28.7%)の減益となりました。

② 経常利益

営業外損益については、営業外収益での受取保険金の増加により営業外損益は増加いたしました。さらに営業利益が増加した事により、経常利益は8億78百万円と前年同期と比べ66百万円(8.2%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益については、伊勢地区新店舗建設による既存設備の解体費用の計上がありましたが、経常利益の増加により税金等調整前四半期純利益は8億69百万円と前年同期と比べて57百万円(7.0%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は2億83百万円となりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5億65百万円と前年同期と比べ39百万円(7.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億8百万円増加し、153億62百万円となりました。これは主に、土地の増加2億60百万円、受取手形及び売掛金の増加71百万円、商品及び製品の減少1億45百万円、建物及び構築物の減少80百万円、現金及び預金の減少74百万円等によるものであります。なお、土地取得については、自動車販売関連事業における既存の賃貸借契約物件の購入及び、自動車リサイクル事業における新規投資に伴う購入となります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より3億55百万円減少し、71億88百万円となりました。これは主に、買掛金の減少4億77百万円、未払法人税等の減少23百万円、前受金の増加58百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より4億64百万円増加し、81億74百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億65百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同期と比べ1億28百万円減少し、6億21百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は前年同期と比べ4億65百万円増加し、12億98百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億69百万円、減価償却費3億66百万円、棚卸資産の減少額7億46百万円、前受金の増加額58百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少額4億77百万円、法人税等の支払額2億98百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は前年同期と比べ4億39百万円増加し、12億36百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12億33百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は前年同期と比べ50百万円減少し、1億16百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億2百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少と、短期借入金の増加額1億円等による資金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2022年5月13日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,208	701,960
受取手形及び売掛金	421,373	492,899
商品及び製品	3,408,120	3,263,098
仕掛品	4,514	8,528
原材料及び貯蔵品	72,203	61,351
その他	234,650	243,289
貸倒引当金	△156	△196
流動資産合計	4,916,915	4,770,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,459,094	2,378,658
土地	5,535,455	5,796,139
その他（純額）	1,224,124	1,307,930
有形固定資産合計	9,218,674	9,482,728
無形固定資産	44,069	40,006
投資その他の資産	1,074,197	1,068,944
固定資産合計	10,336,941	10,591,679
資産合計	15,253,856	15,362,611

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,702,330	1,225,206
短期借入金	2,105,980	2,205,980
未払法人税等	323,130	299,608
前受金	1,482,295	1,541,002
賞与引当金	156,925	164,071
その他	435,595	508,766
流動負債合計	6,206,258	5,944,634
固定負債		
長期借入金	195,120	92,130
役員退職慰労引当金	311,973	317,718
退職給付に係る負債	758,092	765,941
その他	72,979	68,169
固定負債合計	1,338,165	1,243,959
負債合計	7,544,423	7,188,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,103,921	5,564,002
自己株式	△378	△378
株主資本合計	7,413,613	7,873,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,988	3,386
退職給付に係る調整累計額	25,034	24,527
その他の包括利益累計額合計	39,022	27,913
非支配株主持分	256,796	272,408
純資産合計	7,709,432	8,174,016
負債純資産合計	15,253,856	15,362,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,465,056	15,093,846
売上原価	10,629,208	12,063,258
売上総利益	2,835,848	3,030,588
販売費及び一般管理費	2,030,605	2,170,903
営業利益	805,242	859,685
営業外収益		
受取配当金	4,637	5,203
受取賃貸料	5,700	5,700
受取保険金	4,698	18,166
その他	4,937	3,106
営業外収益合計	19,973	32,175
営業外費用		
支払利息	9,386	7,006
支払手数料	2,300	1,637
その他	1,239	4,411
営業外費用合計	12,927	13,055
経常利益	812,288	878,805
特別損失		
固定資産除却損	—	9,330
特別損失合計	—	9,330
税金等調整前四半期純利益	812,288	869,475
法人税、住民税及び事業税	239,877	274,856
法人税等調整額	16,750	8,398
法人税等合計	256,628	283,254
四半期純利益	555,660	586,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	30,145	21,149
親会社株主に帰属する四半期純利益	525,514	565,071

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	555,660	586,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,477	△10,602
退職給付に係る調整額	688	△355
その他の包括利益合計	4,165	△10,957
四半期包括利益	559,826	575,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529,553	553,961
非支配株主に係る四半期包括利益	30,273	21,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	812,288	869,475
減価償却費	354,170	366,344
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,766	7,146
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,178	5,745
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,989	7,339
受取利息及び受取配当金	△4,685	△5,252
支払利息	9,386	7,006
固定資産除却損	—	9,330
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,717	△71,525
棚卸資産の増減額 (△は増加)	414,023	746,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	△430,352	△477,124
前受金の増減額 (△は減少)	90,519	58,707
その他	△94,521	75,719
小計	1,129,689	1,599,150
利息及び配当金の受取額	4,685	5,252
利息の支払額	△9,368	△7,030
法人税等の支払額	△291,366	△298,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	833,639	1,298,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	20,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△793,503	△1,233,560
投資有価証券の取得による支出	△3,001	△13,324
その他	△808	△9,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△797,313	△1,236,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△153,325	△102,990
配当金の支払額	△104,912	△104,916
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△3,585	△3,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,512	△116,852
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△131,185	△54,247
現金及び現金同等物の期首残高	882,047	676,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	750,861	621,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,919,074	545,982	13,465,056	—	13,465,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,000	11,305	15,305	△15,305	—
計	12,923,075	557,287	13,480,362	△15,305	13,465,056
セグメント利益	768,740	155,339	924,079	△118,837	805,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,837千円には、セグメント間取引消去347千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,184千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,401,665	692,180	15,093,846	—	15,093,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,836	19,579	41,415	△41,415	—
計	14,423,501	711,760	15,135,261	△41,415	15,093,846
セグメント利益	861,260	110,740	972,000	△112,315	859,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,315千円には、セグメント間取引消去△2,197千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,118千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。